

# 出前授業（稲刈り体験）

今年5月に園児達が泥だらけになりながら一生懸命田植えした稲の刈り取りが9月27日(木)午前10時、晴天の下、園児、先生、関係者、72名の参加により行われた。

初めに当改良区の安田友一理事長が、春に植えた苗がこのようになるには、水、土、太陽が無ければ育たない、おいしいお米になるには綺麗な水が大切と話し、水路などにゴミのポイ捨てなどしないように園児達に呼びかけた。

次に田んぼを提供していただいた須磨良郎さん（当改良区理事）から、稲の刈り方を教えてもらい年少、年中はハサミで、年長はカマで稲刈りを行った。

稲刈りのご褒美として、土地改良区のクリアファイルとジュースを園児全員にプレゼントした。

刈り取られた稲は、須磨さんが乾燥・もみすり・精米をし、その後、幼稚園の秋の行事・収穫祭で、園児達が味噌タンポ、キリタンポを作りみんなでいただいた。

今回は、秋田市農業委員会、秋田市農林部農政課の協力をいただき、活動することができた。

来年も継続して行えるよう、各関係機関と連携を取りながら準備していきたい。



活動体制	
実施主体	水土里ネット新城川（新城川土地改良区）
後援・連携	秋田市農業委員会、秋田市農林部農政課
実施期間	平成24年9月27日(木)
参加者	けやき幼稚園 園児49名、先生13名、行政関係者4名、土地改良区6名、計72名
報道関連	秋田市広報
活動実施年数	1年目（H24年～）
連絡先	〒010-0146 秋田市下新城中野字琵琶沼188-15 新城川土地改良区 TEL. 018-873-2151
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット新城川（安養寺文隆）					
○活動の目標及び達成率	目標	田植え、稲刈りを通して水の大切さをアピールする。			
	達成率	70%			
○活動に対する評価	・各関係機関と連携して活動することができた。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	ホームページのみのPRだったので、次回は広報なども活用したいと思う
①役職員・組合員の参加	B	理事長、地元理事が積極的に協力している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	幼稚園児からの農業体験は、将来きっと実を結ぶと思う	①他組織との連携構築	A	秋田市農業委員会、秋田市農林部農政課と連携し行った
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	B	園児を通し、父兄の方にも理解されたと思う
①基本理念の設定	B	農業体験を通して水の大切さを知ってもらった	③施設管理・地域資源の保全強化	B	少しずつ浸透していると思う
②地域の歴史等の伝承	C	今回歴史などの話はしなかった	④運動の地域づくりへの関わり	B	少しずつ関わりが進んでいると思う
③運動の先駆性	C	今回はありきたりだと思うので、次回は工夫し対応したい	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	協力できる範囲内で行っている
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	少なからず貢献していると思う
①運動の継続性	B	継続的に行いたいと思う	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	人的広がりのため次回は園児だけでなく、父兄の方も参加してもらおう	・ここだけでなく、他の地域でも活動できるよう積極的に展開していきたい。		
③運動の計画性	B	今回は急で準備も思う様にいかなかったため、次回はしっかりしたい			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他